

【 120 】

氏名	西 村 誠 明
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2411 号
学位授与の日付	平成 4 年 3 月 28 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Three-Dimensional Ultrastructural Changes of Acellular Glomerular Basement Membrane in Various Types of Human Glomerulonephritis (ヒト糸球体腎炎の細胞成分除去法を用いた糸球体基底膜の走査型電子顕微鏡による観察)
論文審査委員	教授 村上 宅郎 教授 大森 弘之 教授 辻 孝夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ヒト糸球体腎炎における糸球体基底膜 (GBM) 変化を糸球体の細胞成分を除去した後、走査型電子顕微鏡 (SEM) にて観察した。

GBMの断裂は通常SEMでは観察できない。しかし、細胞成分を除去した後SEMで肉眼的血尿を伴うIgA腎症の一例において断裂を観察できた。Dense deposit disease (DDD) におけるGBMの沈着物は本除去法では除去されなかったが、他の免疫複合体腎炎における沈着物は殆ど除去された。このことよりDDDの沈着物は通常の免疫複合体とは異なった性質と言える。膜性腎炎及びループス腎炎での上皮側のGBM変化は針穴状からクレーター形成や網状変化まで様々な段階が観察された。細胞成分除去法とSEMとの組合せによる観察は糸球体腎炎におけるGBMの観察に有用である。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は腎基底膜について細胞成分を除去して走査型電子顕微鏡で観察したものであるが、従来十分知られていなかった各種腎糸球体疾患における基底膜の形態的变化について

重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。